

運行形態に関する主な特徴比較（概要）

運行形態	定時定路線型	デマンド型
概略	一般的な路線バスと同様に、利用者の有無にかかわらず、あらかじめ定められたルートを決められた時刻に運行するもの。利用者は時刻表に定められた時刻にバス停で乗車する。	利用者の予約に応じて、AI等が最適ルート等を算出・設定し、運行するもの。利用者はアプリや電話等で、乗車希望時間や乗降場所（ミーティングポイント）を指定し、乗車予約する。
運行範囲	あらかじめ定められた運行ルート	運行区域内におけるミーティングポイント間
運行サイクル	時刻表どおり	時刻表はなく、予約状況に応じて運行
運行イメージ	<p>決まった時刻に決まったルートを運行</p>	<p>運行時刻・ルートは予約状況で変動</p>
車両の想定	ワゴン車 1台	ワゴン車 1台
主なメリット	事前予約が不要 ルート、ダイヤが固定のため分かりやすい	乗りこぼし（定員オーバーで乗れない状況）の心配がない ミーティングポイントが設定できれば目的地に直接いける
主な留意点	ワゴン車両（乗車定員が少ない）のため、乗りきれない可能性がある 一部運休時間（下校時間帯の14:30-16:00）がある	利用に際して事前予約が必要 （アプリによる予約、コールセンターによる予約） 運行区域の設定や他者の予約状況が、乗車予約時間や到着時刻に影響を及ぼす可能性がある
必要な手続き	地域公共交通会議において運行ルート等を協議	地域公共交通会議において運行区域等を協議

区内の狭あい道路が多い地域での対策として、車両はワゴン車両を活用 / 乗車定員が少ないことによる運行収支等を踏まえ台数は1台を想定

メリット・留意点はこれらの想定を加味して記載